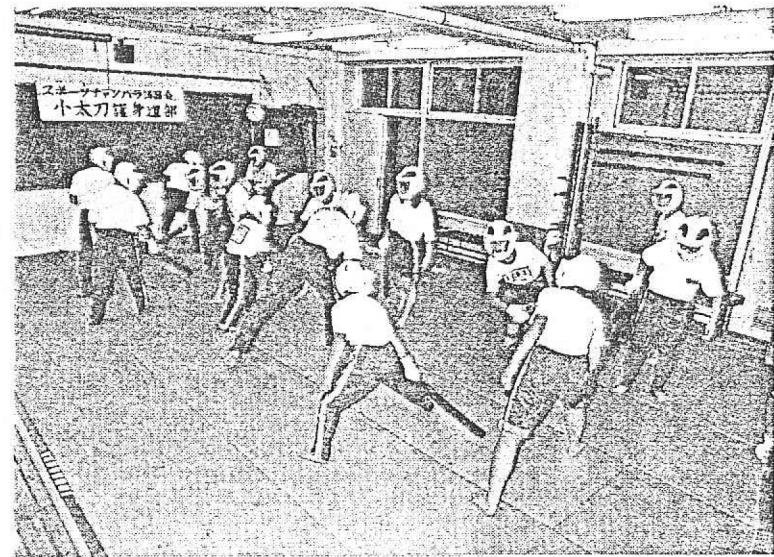
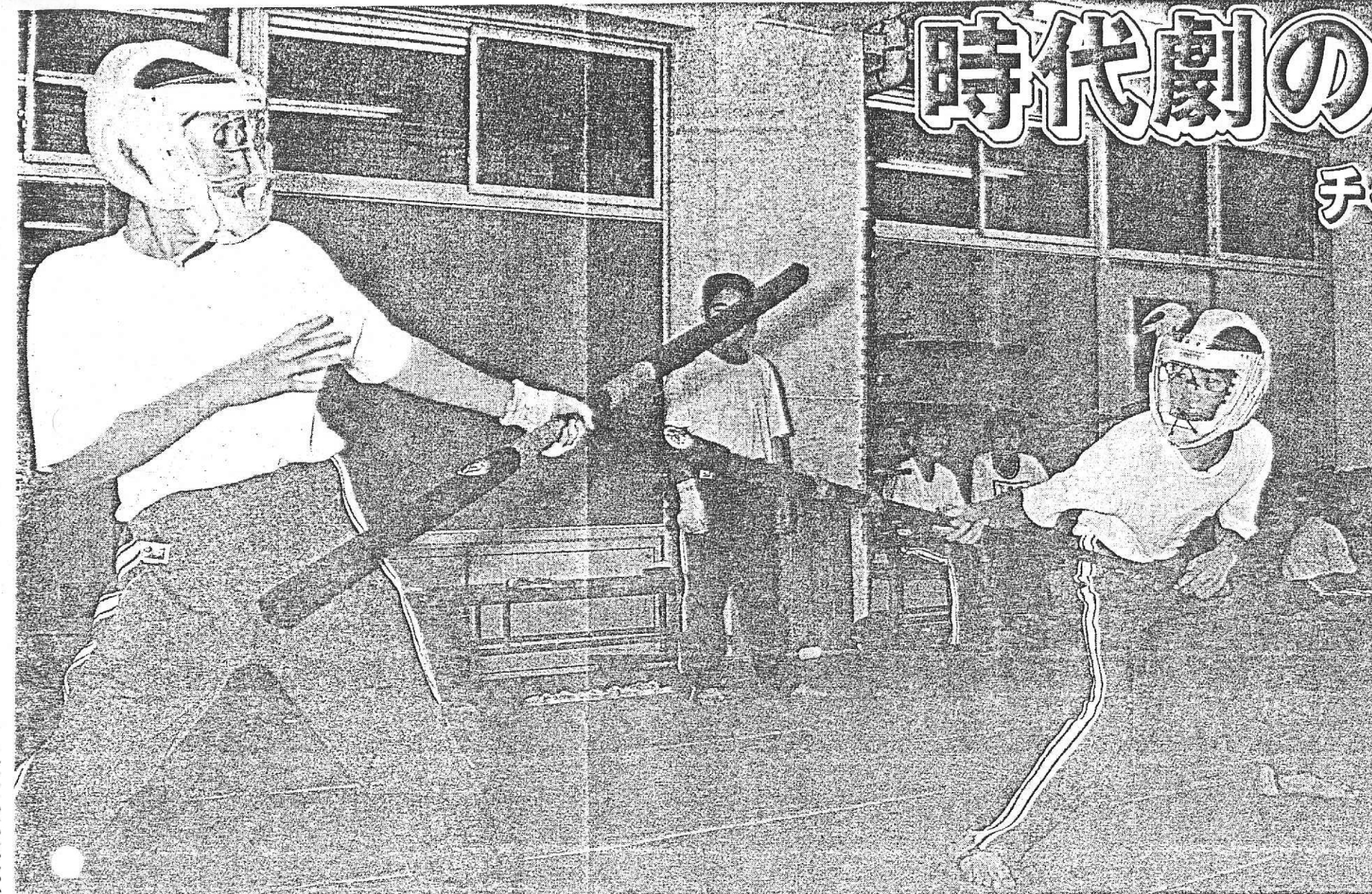


# 時代劇のヒーローだ

## チャンバラをスポーツに

### 馬込東中東京の授業と部活



特別活動室を利用したスポーツチャンバラの道場

スポーツチャンバラならではの槍(右)対杖の異種試合—東京・大田区馬込東中学校で

おとうさんが子どものころ、夢中になったチャンバラごっこが「スポーツチャンバラ」として生まれ変わった。剣道に似ているが、ルールが単純で遊び感覚でできるのが特徴だ。東京・大田区の馬込東中学ではクラブ活動に取り入れている。女子も男子にまじって汗を流している。



女子も試合となれば、相手のすきをついて真剣そのもの

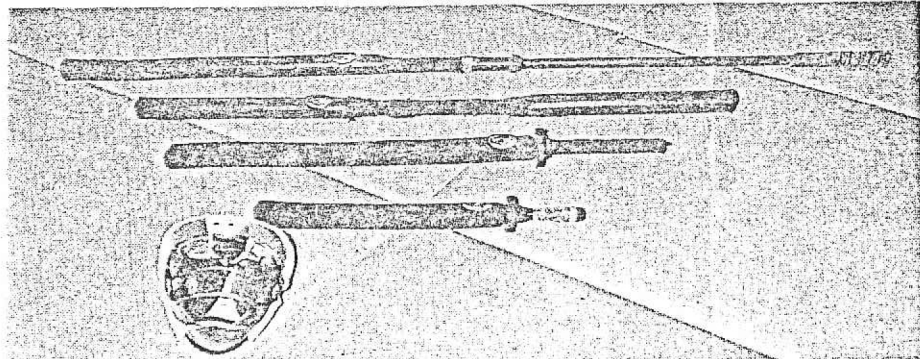
〇袴の小太刀、一対の長剣、二対の杖(よう)、槍。剣は安全のためにプラスチックの隣にウレタンを巻いている。持ち方、かまえ方は自由。ルールは剣を先に相手の体に当てれば勝ち。一本勝負で制限時間は三分だが、一分以内で決まることが多いという。

馬込東中学のスポーツチャンバラの道場ではトナメント形式の練習試合が行われていた。「せつちゃんがんばって」「なんだそのかまえは、カマキリ拳法か」と部員から声が飛ぶ。しかし、試合をしている女子と男子は真剣そのものだ。間合いをつめた男子が一気に打ち込んできたところを女子が小太刀を相手の腕にバツンと決めた。「一本」。男子部員から「何やってんだよ」という声ももれる。

スポーツチャンバラは約二十年前に全日本護身道連盟会長の田辺哲人さんが考案した。最初は一部の武道家の間で行われていたが、数年前から道場が三百と増え競技人口も三万人と広がっている。道具は目や耳を守る面と六

細川健一先生。

「思いきって剣をふりまわせるから気分がスッカスカー」(田中孝徳君、一年)「自分で新しい技を作る楽しさがある」(青木雅哉君、二年)と、さまざまな魅力がある。「種類がいっぱいあって使い方を教えられるのがたいへん」(渡辺聖人君、一年)という声もあるが、二刀流対槍の試合では、お互いがシリシリと間合いをつめて、時代劇さながらの迫



スポーツチャンバラの道具一式。手前から小太刀、長剣、杖、槍

力がある。